

ODA

しゃりん

78

沖縄脊髄損傷者連合会

編集: 沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211
 〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室
 Eメールアドレス sekiren@proof.ocn.ne.jp
 ホームページアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

第七回

全国総会千葉県大会

六月十四日(土)～十五日(日)まで第七回全国総会千葉県大会へ平田、伊波と2名参加致しました。

シンポジウムでは、「障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちづくりを目指すには」の講話を聴きました。日本で初めて、千葉県が19年7月1日施行しました。私達は、時に怪我や病気で体が不自由になると、日頃、気にも留めなかつたちよつとした段差が、大きなバリアと感じられることがあります。また、誰も加齢により、体の機能が低下していくことを考えれば、障害のある方にとって暮らしやすい社会づく

くりは、全ての人々の課題でもあります。

「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」は、行政や事業主、団体、個人など様々な立場の県民が力を合わせ、障害のある方に対する誤解や偏見による不利益な取り扱いをなくすとともに障害のある方の日々の生活や社会参加を妨げている建物や施設、制度などの障壁(バリア)を解消することにより、誰もが暮らしやすい社会づくりを進める為に制定された条例です。この、シンポジウムを聞き是非沖縄県でも取り組みたい条例だと心底思いました。

次に20年度事業計画は、1:脊損ニュースの発行2:インターネット関連

事業3:福祉制度の関連資料等の配布4:入会ガイドの配布5:労災年金の手引きその他、賛助会員の皆様には、会員規定の則り脊損ニュースをはじめ、全国総会やその他の催しものについてのご案内と情報提供を行います。後、ピアサポート活動の推進では、全国5ブロックで研修会の開催:ピアマネジャー等による研修会を年間1回、全国5ブロックで開催しますが、基本的には会場や日時の設定と講師等の派遣は、各地域で決めて頂くことを要請するなど本部が各ブロックと協議を行いつつ実施して行くこととしています。後、障害者自立支援法等・労災補償関係の取り組み・自賠



責保険の加重障害の認定運用の活動を求める活動・無年金障害者の解消運動の取り組み・障害者差別禁止法の制定についての取り組み・請願活動・省庁交渉・ロビー活動及び民間法人等への要請・体育振興事業・福祉モニター募集及びアンケート調査の実施等を話し合いました。

報告：平田

北京パラリンピックに伴う資金造成への協力願

今年9月に北京で開催される北京パラリンピックへJPC日本パラリンピック委員会により正式に出場が決定した157名の選手の内、当会会員からも3名が選考されました。

その決定を受け、本人達も皆様の期待を胸に本番に向け日々調整に励んでいる所です。

本人達がパラリンピックの出場権を獲得するまでの道のりは決して楽なものではなく日頃のたゆまぬ努力と、離島県であるが故の県外大会への遠征費用や合宿費用等の捻出はほとんどす

べてが自己負担で、金銭的にも本人は元より家族の応援や支えがなければこまで来れなかったことは言うまでもありません。

今回の決定については本人のみならず、県内の障害者スポーツに携わる当事者並びに関係者の励みとなり今後の障害者スポーツの更なる発展も期待されます。

当会と致しましては、少しでも多くの方々に応援して頂き、遠征費用等にかかる経費を造成し物心両面から安心して目標が達成できるように支援を致したく、関係者の皆様に協力をお願いいたします。

つきましては、財政上厳しい折り誠に恐縮に存じますが、ご理解を賜り、是非ご協力して頂きますようお願いいたします。

願い申し上げます。

【選手紹介】

県内からは、陸上競技の上与那原寛和選手(37) || 沖縄市、射撃の又吉清人選手(48) || 浦添市、ウイルチェアラグビーの仲里進選手(31) || 同市 || の3人が選ばれた。仲里選手は2度目、上与那原、又吉の両選手は初出場となる。

上与那原 寛和 (陸上)



又吉 清人 (射撃)



仲里 進 (ラグビー)



【資金造成の方法】

A & Wの商品券1枚(500円) + フリードリンク券1枚(200円) を1セット千円で販売し、その差額を3名への支援金といたします。なお、フリードリンク券は、「エイアンドダブ

リュウ沖縄株式会社」の御厚意による無償提供で頂いております。

【問い合わせ】

○事務局

沖縄脊髄損傷者連合会

○連絡先(電話/ファクス)

(098) 886・4211

沖縄フェニックス

地本優勝

先月の6月7、8日に厚生労働大臣杯争奪第22回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会が高円宮妃殿下のご臨席を賜り、沖縄県立武道館を第一会場、沖縄国際大学を第二会場とし盛大に開催されました。そこで地元の沖縄フェニックスが5年ぶり3度目の「日本一」に輝きました

た。

5年前に同大会で優勝して以来、チームは低迷を続けていきました。ですので「沖縄大会で絶対優勝したい!」という思いで望みました。普段、練習は見学できても試合を見たことが無いという人が多いのでそのような人達にも試合を見ていただけた事は本当に良かったと思います。

今までフェニックスを支えてくれたマネージャーやサポーター、家族のみならず、そして大会を大成功に導いてくれたたたくさんのボランティアの方々から心から感謝します。

V2目指して来年の新潟大会も頑張ります。

報告：富間

広告(エアー沖縄)

毎月二十五日発行
ODA通巻 号外

第8回全国障害者スポーツ大会へ切符獲得



5月24・25日に大分県で行われた第8回全国障害者スポーツ大会リハースル大会九州地区予選に参加してきました。今回も前回の内閣総理大臣杯に引き続きチームの目標は“チーム全員で”をモットーに頑

張ってきました。初戦の相手は熊本県で前日のミーティングで今回は全員集まっつての練習がなかなかできず、ディフェンスをどうするかということになりました。ミーティングの結果最後まで走ってオールコートでのマンツーマンディフェンスをしようということにまとまり、試合に臨みました。試合はディフェンスがうまくいき前半から終始リードを保ったまま58対30で勝ちました。2日目準決勝の相手は長崎県でチームとして長崎県には高さスピードで勝っているというところで、この試合もディフェンスは引き続きオールコートでのマンツーマンディフェンスで望みました。試合は長崎県の落ち

着いたボール回しになかなか点差を広げることができませんでしたがこの試合も終始リードを保ったまま49対26と勝ちました。とうとう最後の決勝戦ですが勢いのまま望むことにし初戦・準決勝の勢いのまま決勝は86対31と大差で勝利することができ10月に大分県で行われる第8回全国障害者スポーツ大会の本大会への切符をとることができました。今大会は九州での最大のライバル大分県が地元開催ということで出場していないこともありあぶなげない試合運びで勝つことができ、またチームの目標を達成できこのままの勢いで全国大会で1勝を目指し練習を続けています。

報告 沖縄シーサークラブ・伊波

広告(ちはる歯科)

発行人 沖縄県南風原町字神里六三一 編集人 沖縄県那覇市石嶺町四一三七三一西棟2F
沖縄県身体障害者福祉協会 ボランティア小規模団体室・しゃりん編集部

上里一之

購読料は会費を含む
【頒価 二十円】